

平成30年度広域的市民ネットワーク活動等助成対象事業が決まりました

当調査会では、市町村のワクを越えて行われる芸術文化、環境、福祉、まちづくり及び国際交流等の市民活動を支援しています。活動の成果や発表の場の経費を一部助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

1. 継続申請事業 11事業 (11団体)

事業名	団体名	事業実施予定日	実施予定場所
1 奥多摩セラピーウォーク	セラピーウォーク実行委員会	平成30年4月29日(日・祝)	JR奥多摩駅 ～奥多摩むかしみち～奥多摩湖
2 障がい児者・家族と皆で楽しむバリアフリー運動会	特定非営利活動法人地球冒険学校準備会	平成30年6月17日(日)	東京都立八王子東特別支援学校
3 奥多摩ふれあいカヌーフェスティバル2018	特定非営利活動法人奥多摩カヌーセンター	平成30年6月3日(日)	奥多摩町氷川渓谷 ～白丸湖特設カヌーコース
4 多摩の歴史と未来	まなびの雑学実行委員会	平成30年7月22日(日)	西東京市民会館
5 檜原村お祭り見学会～郷土芸能と保存会の想いに触れる～	檜原学芸社	平成30年9月	檜原村内各所
6 第10回西東京音楽祭	西東京音楽祭実行委員会	平成30年10月上旬	西東京市民会館他
7 文化芸術活動を通じた子どもの地域再発見	多摩北部子ども文化実行委員会	平成30年10月12日(金)ほか	小平市ルネこだいら中ホールほか
8 山のふるさと村音楽祭	山のふるさと村音楽祭実行委員会	平成30年10月14日(日)	東京都立奥多摩湖畔公園 山のふるさと村
9 ひのはら魅力発見! 払沢周辺クイズチャレンジ!!	ひのはら魅力発見隊	平成30年10月～平成31年1月	払沢の滝周辺店舗
10 払沢の滝冬まつり	払沢の滝冬まつり実行委員会	平成30年12月～平成31年3月	檜原村内払沢の滝周辺店舗
11 第7回TOKYOシャンソンフェスティバル	TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会	平成31年3月4日(月)・ 3月5日(火)	調布市文化会館 たづくり・くすのきホール

*日程、開催場所については、予定ですので、変更される場合があります。



2年に一度開催される伊豆諸島・小笠原諸島の魅力発信イベントです!

いち早く! 島の食文化を体験できる!!

竹芝桟橋・竹芝客船ターミナル

入場無料

時間 ▶ AM10:00～PM6:00
26日 AM9:30オープニングセレモニー / 10:00販売開始

会場 ▶ 竹芝桟橋・竹芝客船ターミナル

お問い合わせ / 島じまん実行委員会事務局
tel.03-5472-6546
http://www.shimajiman2018.com

5月26日・27日

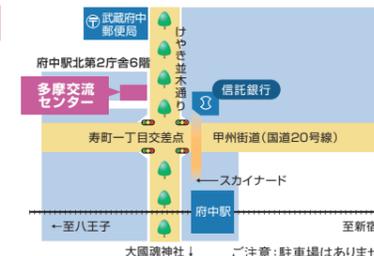
「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階
TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介

障がい児者・家族と皆で楽しむバリアフリー運動会

日時 6月17日(日) 10:30～14:30 事前申込不要 会場前にて10時から受付開始

場所 八王子東特別支援学校体育館

内容 ジャンケンゲーム、パン食い競争、スイカ割り、ポッチャで賞品、玉入れ、大小玉送り…森vs海チームで優勝杯を狙います。車いすの人も、障がい者が有っても無くても、赤ちゃんからお年寄りまで、ボランティア・スタッフも全員出場。お友だちを誘って、室内用運動靴・昼食持参、運動できる服装で! 途中入場・退場可。

参加費 1人200円
※ファミリー割引有 ※「ポッチャ」景品用品物を当日持参して下さい。

主催 NPO法人地球冒険学校準備会 <http://www.chikyubouken.jp>

問合せ 事務局 TEL&FAX: 042-646-0459
E-mail: bandana@js9.so-net.ne.jp



奥多摩ふれあいカヌーフェスティバル2018 同時開催 第24回奥多摩カップカヌー競技大会

日時 6月10日(日) 開会式10:00 閉会式14:30予定

場所 氷川キャンプ場川原(奥多摩駅徒歩5分 有料駐車場あり)

内容 清流多摩川と川原のキャンプ場を会場にして行われる、東京では珍しいカヌー川下りレースと、奥多摩の自然や文化を身近に体験してもらうためのイベントです。選手たちが多摩川の激流を疾走(疾漕)します。その距離は約2.5km。豊かな自然に囲まれた奥多摩町ならではの大会に、山だけじゃない奥多摩の魅力と、東京の意外な一面をお楽しみください。カヌーレースだけでなく、一般の方向けアトラクションも用意する予定です。

入場料 無料(レース出場者は3,000円・昼食・参加賞つき) ※魚つかみ取りなど500円程度の有料アトラクションも開催予定

主催 NPO法人奥多摩カヌーセンター

問合せ 奥多摩ふれあいカヌーフェスティバル実行委員会 担当 伊藤英人
TEL: 090-9148-3113 E-mail: festival@okutamacanoe.jp URL: <http://www.okutamacanoe.jp/festival/>



編集後記

○ 5月になりました。先月、瀬戸大橋開通30周年と明石海峡大橋開通20周年のニュースがありました。この本州四国連絡架橋はかつて旅行で訪れたことがあり、橋上からの美しい瀬戸内の眺望が脳裏に蘇ります。

本州と四国を結ぶ3本の連絡架橋は、明石海峡大橋ルートが昭和63年(1988年)に、瀬戸大橋ルートが平成10年(1998年)に、瀬戸内しまなみ海道ルートが平成18年(2006年)にそれぞれ開通しました。総工費は3ルート合わせて3兆4千億円にもなる国家プロジェクトでした。青函トンネルもこの頃(昭和63年(1988年))に開通し、日本全国がすべてレールでつながったことから、鉄道ファンの間では『一本列島』と呼ばれました。それぞれの地方の念願が成就した時期でもあり、地域の人々の喜びはひとしおであったと思います。

一方、その美しい景観とともに思い起すことがあります。それは、四国4県全体の人口が約380万人で、多摩地域全体の約420万人に近いということです。(※平成27年10月現在)単純に人口を物差しとして比較はできませんが、多摩地域には主な一般国道は国道20号線(甲州街道)と国道16号線の2本しか無く、それぞれの地域住民が等しく負担している税に比べて、投下されて

いる税を原資とする社会資本の地域差がずいぶんあるように思われます。

折しも現在、ふるさと納税や地方消費税の清算基準の見直しなど、様々な形で東京都から地方への財源流出増加の傾向が顕在化しています。一つの地方である東京の財源を狙い、地方と地方の配分変更を行うことよりも、国と地方の役割分担や負担割合を見直すことこそが、本来あるべき姿と考えます。

さて、新年度事業の実施に向けて、それぞれスタートが切られていますが、上記ポスターでご案内のとおり、今年、2年に一度開催される伊豆諸島・小笠原諸島の「島じまん2018」が竹芝桟橋で開催されます。前回実施の2016年には東京の島しょ人口の4倍近くに当たる10万人を超える集客があり、賑わいを見せました。

東京の島しょも地域の全人口が少なく、港湾の整備など東京都による一定の社会資本維持のための負担はありますが、島のおかげで存在する排他的経済水域は日本全体の約4割を占め、様々な海洋資源が確保されています。

当調査会も協賛しておりますので、是非一度、ご覧いただきたいと思います。(M.N)